



都市とITとが出合うところ

福田 知弘 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授

建築・都市とIT（情報技術）とは一見遠く離れた別々の分野のように思えなくもない。しかし、情報社会の時代となり、建築・都市とITとは、計画、設計、施工、運用の各フェーズにおいて、互いの存在をますます無視できなくなっている。本連載では、都市とITとの両者が出合うところや課題について、魅力的な国内外の各地をぶらりと街歩きしながら考えてみよう。

第47回 VR サマーワークショップ インボストン (2)

VR サマーワークショップ DAY 1

VR サマーワークショップは、MIT 産業学際会 (ILP: Industrial Liaison Program) の会議室で行われた。チャールズ川とボストンの美しい街並みが広がる贅沢なロケーションである。

オープニング・トーク・セッションでは、フォーラムエイト代表取締役 伊藤裕二氏、MIT 産業学際会代表 カール・コスター氏、MIT 産業学際会所長 矢野敬二氏が、ウェルカム・スピーチを行った (図1)。

World16セッションでは、小林佳弘氏 (アリゾナ州立大学/アメリカ) の進行により、今回参加した11名のWorld16メンバーがそれぞれ、最近の研究成果とこのサマーワークショップで取り組む提案内容をプレゼンテーションした (図2)。プレゼンテーションの後、各メンバーは画用紙を手にして、2日間のワークショップで実施したい内容を詳しく書きこんでいった (図3)。

MIT キャンパスのレストランで昼食した後、MIT キャンパスツアーへ。MIT メディアラボが入る、榎文彦氏が設計した新しい校舎は、屋内外ともにガラスを多用して透明感に溢れていた。レゴ社が寄贈した校舎の模型がユニーク (図4)。フランク・ゲーリー設計のスタタ・センターの内部には、以前、MIT のシンボル・グレートドームの屋根に一夜にして置かれたとされるパトカーが飾ってあった。聞くと、当時は大騒ぎになった話だそうだが、遊び心に満ちたMITの学生によるいたずら話。グレートドームに置かれたのは、本物のパトカーではなく、原寸大の模型なのだそう。グレートドーム付近では、夏休み真っ只中ということもあり、アジア各国を中心として高校生たちがキャンパスツアーに訪れていた。チャールズ川をゆったりと歩いて (図5)、会議室に戻り、ワークショップを再開する。

World16の各メンバーが昼食前に作成した、ワークショップでの開発提案の画用紙を壁一面に張り出し、アイデアを順に披露していく。他のメンバーからの質

問やコメントを基に、アイデアをブラッシュアップしていく。いわゆる、アイデアソンである (図6)。最終的には、テーマに共通性がありそうな提案を結び付けて、以下のようなチームおよびテーマとなった。

- ・ Thomas Tucker & Dongsoo Choi 氏 (バージニア工科大学/米国): 短時間での点群データの取得と3Dモデル作成
- ・ Marcos Novak 氏 (カリフォルニア大学サンタバーバラ校/米国) × 筆者: 汎用画像処理シミュレーションフレームワーク開発
- ・ Kostas Terzidis 氏 (ハーバード大学/米国) × Amar Bennadji氏 (ロバートゴードン大学/英国): 適応的オーディオと拡張現実提供サービス構想
- ・ Matthew Swarts 氏 (ジョージア工科大学/米国) × Marc Aurel Schnabel 氏 (ヴィクトリア大学ウェリントン/ニュージーランド): 協調設計プラットフォーム研究開発
- ・ Paolo Fiamma 氏 (ピサ大学/イタリア) × Ruth Ron 氏 (シエンカル工科大学/イスラエル): IM&VR nD 情報オープンフォーマットと可視化機能開発
- ・ Wael Abdelhameed 氏 (バーレーン大学/バーレーン): UC-win/Road マイクロシミュレーションプレイヤーを利用した遺跡発掘データの時系列表現

DAY 2

DAY 1 で作ったチームに分かれて、各プロジェクトが具体的に始まった。作業がひと段落すると、ホワイエに出て、チャールズ川に浮かぶヨットやボートを眺めてリフレッシュ (図7)。昼食は集中力を切らさないように、会場までケータリング・サービスを依頼した (図8)。真剣に議論を続けるチーム、開発を始めるチームなどハッカソンの進め方は多様であった (図9)。

いよいよ明日 DAY 3 はワークショップ最終日。夕方には成果をプレゼンテーションしなければならない。ホテルに戻ってからも、夜遅くまで、プロジェクトは続いた (図10)。



福田 知弘 (ふくだ ともひろ)

1971年兵庫県加古川市生まれ。環境設計情報学が専門。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。神戸市都市景観審議会委員、吹田市教育委員会委員、CAADRIA (Computer Aided Architectural Design Research In Asia) 学会元会長ほか公職兼務。NPO 法人もうひとつの旅クラブ理事。「光都・こうべ」照明デザイン設計競技最優秀賞受賞。主な著書に「VRプレゼンテーションと新しい街づくり」「はじめての環境デザイン学」など。ふくだぶろーぐは、<http://fukudablog.hatenablog.com/>



図 VRサマーワークショップ@MIT